

## 取り組んでいる研究テーマ

- 認知症の生活障害のケア
- 地域包括ケアシステム
- 在宅ケアにおけるテクノロジーの活用と倫理等

## 著書・論文のご紹介

### ■ 学術論文

・ Ouchi Y, Toba K, Ohta K, Kai I, Shimizu T, Higuchi N, Shimazono S, Iijima S, Suwa S, Nishimura M, Ninomiya H, Aita K. Guidelines from the Japan Geriatrics Society for the decision-making processes in medical and long-term care for the elderly: Focusing on the use of artificial hydration and nutrition. *Geriatr. Gerontol. Int.* 2018;18:823–827. <https://doi.org/10.1111/ggi.13441Y>

・ Suwa S, Yumoto A, Ueno M, Yamabe T, Hoshishiba Y, Sato M : Characteristics of care methods for daily life disabilities in Alzheimer's type dementia that respect autonomy and independence. *Nursing Open.* 6(3), 930–941, 2019. DOI : 10.1002/nop2.283.

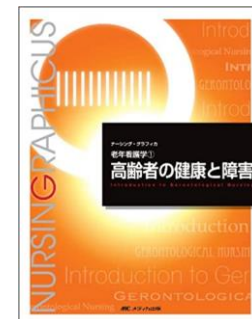
・ Suwa S, Yumoto A, Ueno M, Yamabe T, Hoshishiba Y, Sato M : Practitioners' identification of informal caregivers' difficulties with activities of daily living interventions for older people with dementia in Japan. *Psychogeriatric,* 21(4), 466-477, 2021. DOI:10.1111/psyg.12689

### ■ 著書

・ 日本臨床倫理学会(監修), 日本臨床倫理学会「認知症の人が参加する研究の倫理」に関するワーキンググループ(著): 「認知症の人が参加する研究の倫理」に関する提言—意思決定能力が低下した人を支援するために. へるす出版. 2019.

## 指導可能な研究テーマ

- 認知症ケア全般
- 在宅ケアを含む長期ケア全般



# 取り組んでいる学際研究・国際共同研究

- **高齢者の在宅見守りロボットの開発研究と社会実装における倫理的課題** (2016年度～現在): **日本、アイルランド、フィンランド**の研究者で、高齢者、家族介護者、在宅ケア専門職が在宅高齢者の見守りのためのロボットやセンサーに関する倫理的課題をどのように認識しているかをアンケート調査で明らかにします。**千葉大学における特色ある研究活動の成果として千葉大学HPに掲載されています。** [http://www.chibau.ac.jp/research/coe\\_gp/result/nursing/result76.html](http://www.chibau.ac.jp/research/coe_gp/result/nursing/result76.html)
- **介護ロボットの社会実装モデルに関する国際共同研究～人・ロボット共創型医療・介護包括システムの構築に向けて～** (2019年度～現在): **日本、アイルランド、フランス、香港**の研究者で、各国の介護政策・ロボット開発・使用状況の調査、介護施設におけるロボット見守りシステムの導入・実証試験を行っています。

## Chiba-UCD-Seinäjäki Joint Research Seminar (8<sup>th</sup> May, 2018 @FINLAND)

